

会津における祈りに関する WEB サイトの提案

A2201415 近内まい A2201423 清水廉久

A2201430 中野馨子 A2201438 山崎瑞季

研究の背景（または概要など）

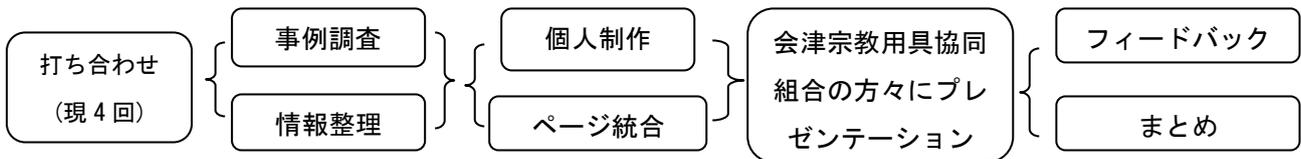
全国に出回る仏具などの宗教用具の60%は会津地方で生産されているが、あまり知られていないのが現状である。例えば年間およそ10万人亡くなる内の6割の方が持っている位牌は、そのうちの半分が会津宗教用具協同組合に参画している会津の企業で生産されたものである。

それらを背景として、私たちは会津宗教用具組合と協力して、普段の生活と関わりが少ない位牌や仏壇等の宗教用具の敷居を下げ全国の方々に PR していき、ひいては会津の知名度上昇へ繋げ地場産業の活性化につなげるために共同でプロジェクトを立ちあげることとした。

研究の目的

会津宗教用具協同組合の方々と協力して、広告媒体を作ることによって会津は宗教用具の生産地であることを知ってもらう Web サイトを制作しようとして計画した。宗教用具ができ、更に貴重な仏閣がある会津地方から連想できる「祈り」をテーマに Web サイトを展開することとし、それぞれ立ち上げた企画をコンテンツ化する。それを Web サイトで公開することによって、人々に会津を広く知ってもらうことが目的である。

研究のプロセス



◆ 近内まい

- ①会津の仏像に関する文献調査
- ②会津の幾つかの寺に赴き現地調査、及びサイトの素材となる写真撮影
- ③サイトで会津の主な仏像を紹介するためのイラスト制作
- ④サイトのコンテンツ制作

◆ 清水廉久

文献調査:印相を始め仏像についての基本的な情報を集めた。

制作 1:中間発表に向けてサイトを制作した。→ある程度方向性を定めた。

取材:福島県郡山市の住職の人に取材を行った。→教学に忠実なサイトは困難

制作 2:取材で得た情報と頂いたアドバイスを元に最終的な方向性を決定した。→成果物

◆ 中野馨子

- ①会津地域の寺・木彫の調査
- ②寺社建築に関する研究
- ③素材の制作とコーディング

④サイトのコンテンツの制作

◆ 山崎瑞季

- ①会津宗教用具協同組合の方々から「今と昔」の取材調査
- ②サイトに載せるコンテンツを選ぶ
- ③サイトに掲載するためのイラスト及び記事の制作
- ④サイトのコンテンツ制作

成果物(完成作品)

総合ページ

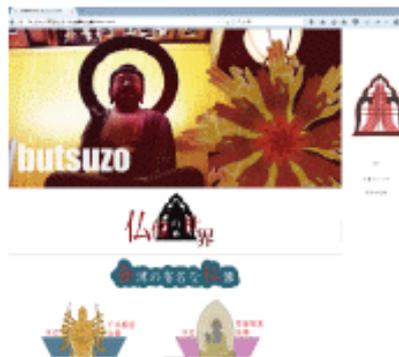


会津の祈りに関する
スポットや行事
の紹介

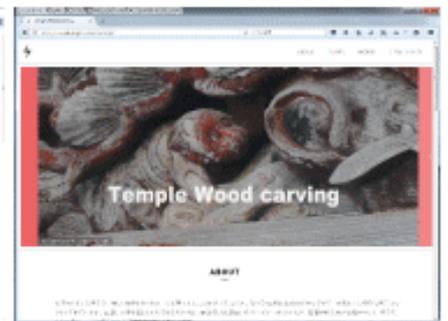


依頼元の会津宗教用具協同組合の紹介

近内のページ 会津の有名な仏像



中野のページ 寺院彫刻



各個人制作の
ページへリンク



清水のページ
仏像の印相



山崎のページ
祈りの今昔

考察

◆ 近内まい

会津にある国の重要文化財とされる仏像を知ってもらうというテーマでサイトの制作を進めた。仏像という決して身近にあるものではないものに対して興味が持ちやすいように、イラストの絵柄をコミカルにすることにしたが、仏像をどこまでデフォルメして良いものなのか分からず微調整を重ね今の絵柄に辿り着いた。当初思っていた絵柄とはかけ離れているが、堅苦しくなく分かりやすい絵になったと思う。

イラストの制作に時間がかかってしまいサイトの内容量が少なくなりましたが、会津にある国の重要文化財とされている仏像については分かりやすくまとめられたと思う。



◆ 清水廉久

「仏像や仏壇・仏具への興味を持たせる」という点において、見易さ・理解し易さを重視したレイアウトを構成でき、内容も専門性の釣り合いがとれたページ制作をすることができた。

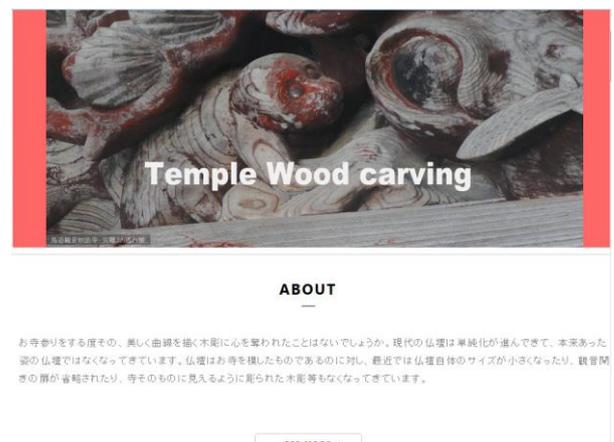
取材した情報の中には教学としても専門的な内容が多く、それを生かして既存の文献よりも説得力のある内容が記載できた。

しかし、取材を行って初めて分かったことに「仏像が結ぶ印相と我々が結ぶ印相は同じ意味でも異なる」という事があった。これについては文献やインターネットを調査しても情報は得られず、取材した住職の方も「他の宗派についてはそちらの住職に尋ねた方が正確だ」とのことだった。取材については反省すべきであったと思われる。



◆ 中野馨子

簡略化が進んでいる仏壇は、大きさはもちろん装飾なども省略され始め、仏壇が本来あった寺の意匠から離れていく。仏壇に施されていた装飾や木彫の美しさに改めて人々に気づいてほしいという想いから木彫にクローズアップしたWebサイトを制作した。ターゲットにした世代は若い人たちなので、文字よりもビジュアルに特化したデザインにすることを目標に制作を進めた。会津地域で木彫の調査をした時撮影した写真を一覧で表示さ



せるアルバム2つ作り、1つは各寺で木彫をまとめた項目と、様々な寺の木彫を見ることができ、且つソート機能で見たい木彫を分類ごとに閲覧できる機能を設けた。これにより同じ意匠でも各寺による彫りの違いを見やすくし、新しい発見や面白さを感じてもらえるのではないかと考えた。さらに人々に寺参りをし易くするために、寺参りの仕方もコンテンツとして取り上げたが木彫の意匠の意味を載せることや、寺や仏の世界に人々をもっと身近にさせるというゴールに足りない所がありアプローチの仕方を上手く考えるべきだった。

◆ 山崎瑞季

私のテーマは「会津の祈りの『今と昔』の違い」を知ってもらうというものだった。そして、閲覧者に「今の祈りはこういうものもあるのか！」と会津の祈りに関心を持ってもらうことを目標にして制作してきた。

制作する上で重視したのは「気軽さ」だったので、キャラクター(漫画)を取り入れ、楽しみつつ閲覧できるようにしてみた。そのため、「祈り」に対して興味を持ちやすいサイトにすることができた。

残念な点を挙げるとすれば、キャラクター面を重視しすぎて「今昔の違い」がうまく伝わりづらい記事が出てきてしまったと感じた。

記事を作る際に、記事そのものをつくる前に記事の文章をもっと推敲してから作れば、より深い内容の記事ができたのではないかと思う。

